

2014年3月14日

国立大学法人徳島大学長 香川 征 殿
徳島大学病院長 安井 夏生 殿
徳島大学病院看護部長 木田 菊恵 殿

徳島大学教職員労働組合
中央執行委員長 石田 三千雄

看護師の待遇改善の要望と看護部長懇談の申し入れ

日頃より徳島大学および徳島大学病院の充実発展のためにご尽力されていることに敬意を表します。昨年4月には、かねてより組合から要望してきた有期雇用職員の雇用期限撤廃が実現し、当組合員のパート職員が雇用期限の上限のない契約職員に職種替えすることができました。病院長の公明正大な対応に感謝いたします。

さて、当組合病院支部の組合員（看護師）より、従来の8時間労働3交代勤務に対して、12時間労働2交代勤務の導入が進められている点について、「8時間労働がよい人に対して12時間2交代制を強要するのをやめてほしい」という要望が上がっております。この点に関しては、看護部の方でも調査のアンケートを実施するということでした。アンケートの原案を拝見したところ、「12時間2交代を導入する」という姿勢がはっきりと表れているような項目の構成となっており、客観的な結果が出るかどうか危惧するところではありますが、アンケート結果を組合に提供いただけるという約束になっておりますので、結果の提供を求めます。

その結果をもとに、下記3点について、看護部長との懇談の開催を求めます。日程調整につき、おおむね2週間程度以内にご回答いただければ幸いです。ご多忙のところ恐縮ですが、よろしくお取り計らいくださいますよう、お願い申し上げます。

記

- ① 12時間労働については労働についての科学研究からもその有害性は立証されておりますので、「8時間3交代・正循環方式による勤務体制（日勤→準夜勤→深夜勤）」という、より健康被害の少ない方式での勤務体制を実現されますよう、求めます
- ② 「7対1看護」の導入によって、看護師の労働環境は改善されるものと期待していましたが、結果として、どういうわけか労働強化が起こっているように思われます。引き続きの看護師の増員など、対応をお願いいたします。
- ③ 民間病院への優秀な看護師の流出を防ぐこと、看護師の賃金は昇給カーブが著しく抑制されていること等に鑑み、夜勤手当をはじめとする手当の増額などで、一層の待遇改善を図られることを求めます。

以上